

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2006.11.26 No.451 (毎月2回発行)

雨にも負けず、風にも怯まず

「教育基本法守ろうネット・あきる野」の
宣伝カーは今日も、わが街を走りつづける！



子どもを思う強い心から始まった「教育基本法守ろうネット・あきる野」は2回目の街頭宣伝を今月11日から24日までの予定で連日活動している。なかでも、教職を経験した方の思いはひとしおで、訴えに力が入る。今号は、元教師のお二人の熱い思いをご紹介します。



強行採決許さず 教育基本法を 守りぬこう！

元教師の思
いよ届け！

① 教育基本法がもつ「力」

元高校教師
田中 義夫

毎年卒業式が近づいてくると職員室は暗くなった。それは、職員会議で校長が教育委員会の通知通り、卒業式で「日の丸」「君が代」を実施したい旨を述べ、その是非を議論しなければならぬからである。

しかし、侵略戦争の象徴である「日の丸」と天皇の弥栄を願う「君が代」を生徒の卒業を愛でる晴れの舞台で実施させるわけにはゆかない。教員の多くが、その

歴史の真実と管理統制を強めるための手段であることの本質を明らかにし、人生のエポックを画すにふさわしい卒業式をつくり上げるために真剣に強制反対の議論をした。

その議論の後ろ盾となったのが教育基本法第十条「教育は、不当な支配に服することなく、国民全体に対し直接に責任を負って行われるべきものである。」であった。この条文のおかげで皆

だればわかることなく自らの教師としての信念に基づいて意見を述べ行動できた。教育基本法は民主教育を守り進めてゆくための武器であり宝である。

学校教育において最も大切なものは真理と事実である。真理を究め理想を語る学びの場に、政治権力が一方的に特定の考えを強制することほど教育の原理に反することはない。

元教師の思
いよ届け！

② 『改悪』は絶対許せない

元小学校教師
鈴木 和子

引つ込み思案のくせに子どもが大好きで高校・大学と児童文化系のサークルで過ごし、教職

について私はいまだこれ50年近く子どもと関わっていることになりました。長い子どもとのつきあいであることは「仲間」「空」「時間」「三つの『間』」といわれまます保障されれば子どもというものは計り知れない力を

発揮する。」ということですが、給食のとき、ストロー笛を意

工夫を凝らしたストロー笛を鳴らし続けた3年生。班の名前決めでただ一人反対意見を譲らない子に対して多数決ではない方法で見事に解決した1年生。誰も考えつかない方法で1立方センチを作った5年生。自分たち

の問題を泣きながら話し合っ

て解決した6年生。子どもたちからたくさん感動をもらいました。どれも三つの『間』が保障された中でできごとです。だから私は競争で子どもたちから「仲間」を奪い、効率化で「時間」を奪う教育基本法の改悪を絶対許すことができないのです。



これまでのこどもぐらし経験では、男の子は車や電車などの乗り物に興味を持つ傾向がありますが、その他変装(ドレス含む)、ままごと、人形、ぬいぐるみ、工作、戦いごっこに男女差はないようです。色は、男の子の方がはっきりした色を好むようです。赤系=女の子、青系=男の子という好みとは限りません。

集団生活に入ると、まわりと影響しあって、ピンクは女の子の色だとか、男にドレスは変だとか言うこともあります。でもどれも個人差があり、いまのところ、こどもの好みは大人の想定外なこともあるけれど、男の子だから、女の子だからという決めつけはしない方が、お互い楽しくすごせそうだと考えています。

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

野良望

最初の公害事件と言われる足尾銅毒事件の地を訪ねた。

巨大な廃墟となった銅の製錬所は、朽ち果てた巨大な要塞の様に錆びた鉄骨と崩れたコンクリートの姿を晒していた。
▼工場から出た煙害で草木も生えぬ状態で廃村になった松木村の山へ特別に案内され入った。車が奥へと行けば行く程そこに練り広げられる風景はまるで西部劇の荒野のような山、山の飛び山だ。▼百年前の富国強兵策による資本と国が一体となって巨大な規模の鉱毒をまき散らし、反対する村民を村ごと追い出して廃村となった松木村には強い日射しと強い風が吹いていた。
▼その強い風の中で説明にたつてくれた老人は鉱山の不当解雇反対闘争で闘った生き証人だと元気に語る。その横顔に足尾の公害反対に命を賭けて闘った田中正造の姿をダブらせて見たのは私だけだっただろうか。また田中正造が公害反対と同時に軍備全廃を訴えていたことを吉岡吉典さんの学習講演会で知った。(紀)

学 習 今問われる戦争と平和

主催/日本共産党西多摩青梅地区委員会 同地区対策委員会

元参議院議員の吉岡さん大いに語る



吉岡 吉典氏

日本共産党西多摩青梅地区委員会は、11月18日、羽村市のコミュニティーセンターホールで「今問われる戦争と平和」と題した学習講演会を開きました。

約100名の参加者を前に、日本共産党前参議院議員の吉岡吉典さんが議員の時から精力的に調査した数多くの資料を駆使して講演しました。

吉岡さんは、日本の反動勢力が振りまいている日本の戦争は正しかったと言う論陣を、事実に基づいて完膚なきまでに打ち破り、参加者に強い感銘を与えました。

講演終了後の会場から多くの質問にも丁寧な回答がされ、参加者は熱心に聞き入っていました。

東地区後援会で「餅つき大会」開催

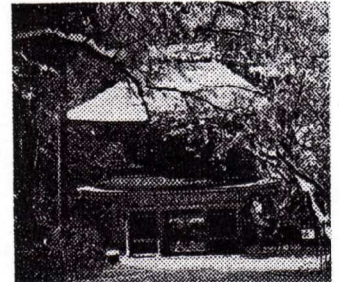
東地区後援会では年末恒例の「餅つき大会」を12月9日、午前11時より唐沢さん(二宮2376)宅で行います。飲物や豚汁なども用意(会費500円)してあります。

当日バザーも行いますので出品される方は役員までご連絡を、当日の持ち込みも結構です。

南部地区後援会で総会開かれる

10月29日南部後援会の第6回総会が21名の参加で開催されました。後援会長の挨拶から始まり9条の会の訴え、教育基本法の改悪に反対する紙芝居の上演など今までのない中身で大いに沸きました。影山議員の議会報告、後援会活動の報告、来年の諸選挙勝利を誓いあいました。

五日市後援会ではウオッチングなど



五日市の後援会では、今年から住んでいる地域をもっと知ろうとウオッチングの活動に力を入れています。今月の23日には第5回目になる「史蹟巡りと紅葉狩り」を20人余りで行う予定です。

8月には総会で新役員を選出、意欲的に会員拡大に取り組むことも決めています。

日本共産党後援会便り

「温泉問題を考える会」がいま呼びかける運動がなぜ「事務監査請求」なの？

住民監査請求と事務監査請求の違い

「住民監査請求」は、一人でも行えますが、財務会計上の行為に限られ、しかも行為のあった日から1年以内に限られます。回答が不服の場合は行政訴訟を行うこととなります。これには裁判費用などの困難な点があります。

一方「事務監査請求」は、期限についての制限はなく、行政が行った事務の執行全般にわたって明らかにして、その責任を問うことが出来ます。

多くの人が参加して賛同者を広げる運動に注目！

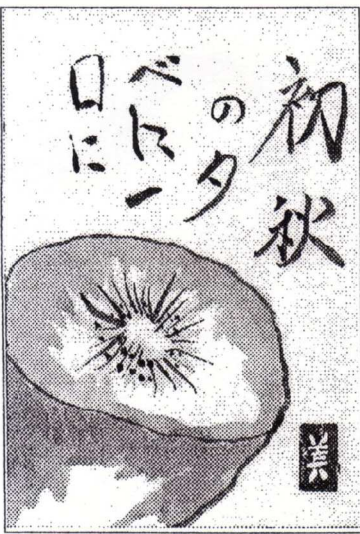
現段階で温泉建設を止めることは出来ません。しかし温泉建設には、いまだ多くの市民が疑問を抱いています。一度近隣の温泉施設の経営がよくないということで見直した計画を、市民に十分な説明もなまま押し進めるのか「市の財政に

は1千億円を超える借金があるのに更に24億円も注ぎ込む」となどの疑問のほか、調べるはずいふんとずさんな計画で進められていることもわかりました。

市民がもつ「知る権利」を行使してこれらの疑問、市政のあり方を市民に説明させ、市民が納得できる市政に変えていく絶好の機会と考えて提案しています。

(考える会世話人K)

絵手紙/栗原美也さん・津在住



俳句

「五葉寺周辺を吟行」

つたからむ桜大樹の落葉かな (静子)

柿落葉僅かに緑残りけり (やすこ)

吟行や草の葉先に残る虫 (富子)

虫のふわり寄りくる寺の庭 (題代)

紅葉する桜葉の下樽観音 (勝代)

水底の秋日さゆれて鯉の群れ (かほる)

鶉騒ぐ不成りの年の柿五つ (香治)

歴史探訪 第31回 番外編——北九州の旅(8)



公園を遠くから眺めると、集落のシンボルとも云える物見櫓が見えてきます。シャーマンが政事(まつりごと)・祭事を司どった神殿も三階建と巨大でした。城柵の内

には、これら他に倉庫や住居が園内一帯に再現されています。弥生人の住居は地面を掘った半地下式の竪穴式であり、神殿・倉庫・集会所・物見櫓が高床式でした。

三世紀半ば、魏と北九州の女王国との間に主従関係による友好があったとされています。しかし魏の使者達が倭の見聞に思い違いを生じ、勝手な解釈によって「魏志倭人伝」の方向・距離に様々な推論がなされてきました。松本清張は筑後国山門郡と云い、宮崎康平は島原と推定しています。

帰り道、公園の外れでこれから発掘を進める場所に出会いました。広大な敷地の中には、まだ未知なる発見も期待され、それは「日本人は一体なに？」「邪馬台国は何処？」にも繋がり、新たな解明もあるかもしれません。(終り)

草花 木崎秀治